



午後からは、新庄市民スキー場周辺と「しんきん結の森・ぐるっと花笠の森（新庄）」にて、山形県内緑の少年団員と新庄市内の小学生が緑の少年団活動に取組みました。2つのグループに分かれ、森林散策とネイチャーゲームをそれぞれ交互に楽しみました。

森林散策では、大きなホオノキの葉っぱを観察したり、フキの葉を傘のようにしたり…。ネイチャーゲームでは、自然のものでビンゴゲームをしたり、森林の中で耳を澄ませて聴こえた音を絵で表現したり…。たくさん森林を満喫しました！



みんなで森づくり

やまがた森の感謝祭2025
～身近な木 もっと広がる 未来まで～



6月7日（土）、新庄市民スキー場において「やまがた森の感謝祭2025」が開催されました。

天候にも恵まれ、約400名の参加者が、自然環境の恩恵に感謝し、森づくりへの決意を新たにしました。

式典では、最上地域森林・林業功労者表彰が行われ、最上地域の森林整備や「循環型社会づくり」等の山林・林業の振興に貢献された小関一也様並びに共同受賞されたマルカ林業株式会社、もがみバイオマス発電株式会社の2社を代表して、もがみバイオマス発電株式会社様に、最上地域林業振興協議会会長から賞状が授与されました。

また、「やまがた絆の森づくり」に取り組んだ企業を代表し、新庄信用金庫様へ高橋副知事から「山形県CO₂森林吸収量認証書」が、今回の感謝祭のテーマを考えた新庄市立萩野学園6年生伊藤元康さんに山科新庄市長から賞状が授与されました。

新庄市内の小学校児童6名の元気な「森づくり宣言」の後、参加者全員で、山形トヨペット株式会社様よりご提供いただいたコナラのコンテナ苗木150本を植樹しました。



一口メモ

最上地域は、きのこの一大生産地であり、コナラはきのこ培地の原材料として利用されるほか、秋には紅葉し、ドングリ拾いなども楽しむことができるため、今回の植樹活動の植栽木として選定しました。